

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する 一覧表

## 研究成果の刊行に関する一覧表

### 書籍（日本語）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
高橋秀徳、 下山直人	癌性疼痛と疼痛緩和	中川和彦	Cancer Treatment Navigator	株式会社 メディカルレビュー社	東京	2008	272-273
下山恵美、 下山直人、 他	鎮痛補助薬	日本緩和医療薬学会	臨床緩和医療薬学	真興交易株式会社 医書出版部	東京	2008	78-92
下山恵美、 下山直人	疼痛管理	神田善伸	造血幹細胞移植の基礎と臨床（上巻）	医薬ジャーナル社	東京	2008	299-302
大上俊彦、 下山直人、 他	膵がんの疼痛マネジメント	奥坂拓志	膵がん標準化学療法の実践	金原出版	東京	2008	59-61
高橋秀徳、 下山直人、 他	国立がんセンター中央病院	後明邦男	緩和ケアチームの立ち上げとマネジメント	南山堂	東京	2008	130-133
下山直人、 他	疼痛のメカニズム	東原正明	癌緩和ケア	振興医学出版社	東京	2008	6-9
ガレス・リー		的場元弘、 橋本貴夫（ 監訳）	がん-お医者に行く前にまず読む本-	一灯舎	東京	2008	
的場元弘	3薬物療法2：応用：胸水、腹水	日本緩和医療薬学会	臨床緩和医療薬学	真興交易	東京	2008	62-67
的場元弘	IV治療の進歩、医療用麻薬の新しい管理法	工藤翔二、 土屋了介、 金沢実、大田賢	呼吸器 Annual Review 2008	中外医学社	東京	2008	248-253
佐伯俊成	軽症うつ病	上島国利、 他	気分障害	医学書院	東京	2008	534-538
辻哲也	緩和ケアと呼吸リハビリテーション	江藤文夫、 上月正、植木純、 牧田茂	臨床リハビリテーション別冊 呼吸・循環障害のリハビリテーション	医歯薬出版	東京	2008	166-173

辻哲也	がんによる嚥下障害 オーバービュー	里宇明元, 藤原俊之	ケーススタディ 摂食・嚥下リハビリテーション 50 症例から学ぶ実践的アプローチ	医歯薬出版	東京	2008	174-177
安藤牧子, 辻哲也	早期退院を目標とした舌亜全摘術後の重度嚥下障害の症例	里宇明元, 藤原俊之	ケーススタディ 摂食・嚥下リハビリテーション 50 症例から学ぶ実践的アプローチ	医歯薬出版	東京	2008	178-183
安藤牧子, 辻哲也	中咽頭癌術後、後治療が加わり嚥下障害が遷延した症例	里宇明元, 藤原俊之	ケーススタディ 摂食・嚥下リハビリテーション 50 症例から学ぶ実践的アプローチ	医歯薬出版	東京	2008	184-189
安藤牧子, 辻哲也	嚥下障害を呈する進行癌の2症例(緩和ケア)	里宇明元, 藤原俊之	ケーススタディ 摂食・嚥下リハビリテーション 50 症例から学ぶ実践的アプローチ	医歯薬出版	東京	2008	206-211
松本真以子, 辻哲也, 山本幸織, 興津太郎, 近藤国嗣	食道癌術後の嚥下障害の症例(周術期リハプログラム介入開始前と開始後の比較)	里宇明元, 藤原俊之	ケーススタディ 摂食・嚥下リハビリテーション 50 症例から学ぶ実践的アプローチ	医歯薬出版	東京	2008	190-196
森田達也, (編), 他		森田達也, 木澤義之, 戸谷美紀	緩和ケアチームの立ち上げ方・進め方	青海社	東京	2008	
社団法人 日本医師会(監), 的場元弘, 森田達也 (編), 他		社団法人 日本医師会 (監)	がん性疼痛治療のエッセンス	青海社	東京	2008	

社団法人 日本医師 会（監） <u>森田達也</u> （編）, 他		社団法人日 本医師会 （監）	がん緩和ケア ガイドブック2 008年版	青海社	東京	2008	
<u>森田達也</u>	緩和医療（終末期医 療、在宅ケア）	中川和彦 （編集）, 勝俣範之, 西尾和人, 畠清彦, 朴 成和（共同 編集）	NAVIGATOR Can cer Treatment Navigator	メディカ ルレビュー ー社	東京	2008	278-279
片山博文、 <u>下山直人</u>	緩和療法の実際	田村友秀	がん看護実践 シリーズ3 肺 がん	メヂカル フレンド 社	東京	2007	146-154
大澤美佳、 <u>下山直人</u> 、 他	ターミナル期にあ る患者の支援	藤原康弘	がん看護実践 シリーズ8 乳 がん	メヂカル フレンド 社	東京	2007	197-212
<u>下山直人</u>	緩和医療における インフォームド・コ ンセント	五十子敬子	医をめぐる自 己決定—倫 理・看護・医 療・法の視座—	イウス出 版	東京	2007	147-161
下山恵美、 <u>下山直人</u>	緩和医療1. オピオ イドの使い方は？	永井厚志、 吉澤靖之、 大田健、 江口研二	EBM呼吸器疾患 の治療	中外医学 社	東京	2007	405-408
<u>下山直人</u>	医療用麻薬（オピオ イド鎮痛薬）の種類 と特徴	下山直人	インフォーム ドコンセント のための図説 シリーズ が ん性疼痛	医薬ジャ ーナル社	東京	2007	34-39
高橋秀徳、 <u>下山直人</u>	Ⅱ. 緩和ケアにおけ るコンサルテーシ ョン活動の専門性 2. 緩和ケアチーム で活躍する医師の 役割と実際—1）緩 和ケア担当医の立 場から	（財）日本 ホスピス・ 緩和ケア研 究振興財団 「ホスピス 緩和ケア白 書」編集委 員会	ホスピス緩和 ケア白書20 07	（財）日 本ホスピ ス・緩和 ケア研究 振興財団	東京	2007	24-27
<u>下山直人</u>	がん患者の苦痛に 対する鍼灸の効果	日本統合医 療学会、瀧 美和彦	統合医療 基 礎と臨床	株式会社 ゾディア ック	東京	2007	66-73

<u>佐伯俊成</u>	研修医のための精神科講座（せん妄・不定愁訴・うつ病）	前野哲博	カンファレンス方式による精神疾患治療の実践講座	働ケアネット	東京	2007	30分×3話
<u>辻哲也</u>	内部障害のリハビリテーション	里宇明元、佐藤禮子	リハビリテーション	日本放送出版協会	東京	2007	174-200
<u>辻哲也</u>	がんのリハビリテーションの概要	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	2-8
<u>辻哲也</u>	アセスメントの基本とリハビリテーションプログラムの立て方	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	9-16
<u>辻哲也</u>	リハビリテーションを行なう上でのリスク管理	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	17-22
<u>辻哲也</u> , 他	頭頸部がん患者に対する周術期リハビリテーション. 実践！がんのリハビリテーション	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	38-44
<u>辻哲也</u>	頸部郭清術後のリハビリテーション	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	45-51
<u>辻哲也</u>	緩和ケアにおけるリハビリテーション	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	156-162
<u>辻哲也</u>	呼吸困難に対する呼吸理学療法	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	196-202
<u>辻哲也</u>	がん治療におけるリハビリテーション：将来と今後の課題	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	223-225
石井建, <u>辻哲也</u>	肺がん患者に対する周術期リハビリテーション	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	52-59
岡山太郎, <u>辻哲也</u>	消化器系がん患者に対する周術期リハビリテーション—食道がんを中心に—	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	60-66
田尻寿子, <u>辻哲也</u> , 他	乳がん患者に対する周術期リハビリテーション	辻哲也	実践！がんのリハビリテーション	メジカルフレンド社	東京	2007	72-78

田尻寿子, <u>辻哲也</u> , 他	婦人科がん患者に 対する周術期リハ ビリテーション	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	79-83
安藤牧子, <u>辻哲也</u>	摂食嚥下リハビリ テーション	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	86-95
古橋玲子, <u>辻哲也</u> , 他	高次脳機能障害に 対するリハビリテ ーション	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	102-108
青木朝子, <u>辻哲也</u>	リンパ浮腫のリハ ビリテーション	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	109-115
松本真以 子, <u>辻哲 也</u> , 他	四肢切断術後のリ ハビリテーション	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	116-125
田沼明, <u>辻哲也</u>	廃用症候群・体力消 耗状態・がん悪液質 症候群への対応	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	163-169
松本真以 子, <u>辻哲 也</u>	がん疼痛に対する 物理療法	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	170-175
田尻寿子, <u>辻哲也</u>	日常生活動作や生 活関連動作に対す るアプローチセ ルフケアを中心 に	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	188-195
山下亜依 子, <u>辻哲 也</u> , 他	がん終末期の栄養 管理と摂食・嚥下障 害への対応	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	207-211
田尻寿子, <u>辻哲也</u> , 他	進行がん患者に対 する「こころのケア としてのリハビリ テーション」	辻哲也	実践!がんの リハビリテー ション	メジカル フレンド 社	東京	2007	216-221
門田和気, <u>下山直人</u> , 他	疼痛と疼痛緩和ケ ア	日本臨床腫 瘍学会	新臨床腫瘍学	南江堂	東京	2006	743-749
高橋秀徳, <u>下山直人</u> , 他	緩和医療	福富隆志	再発乳癌診療 ガイドブック	中外医学 社	東京	2006	103-116
<u>下山直人</u>	鎮痛薬の特徴と使 用法	社団法人日 本麻酔科学 会教育委員 会・安全委 員会	J S Aリフレ ッシャーコー ス	メディカ ル・サイ エンス・ インター ナシヨナ ル	東京	2006	110-116

的場元弘	オピオイドで呼吸抑制が生じたら？ Ⅲ疼痛治療の基礎	田中昌代	がん疼痛緩和ケアQ&A－効果的な薬物治療・QOLの向上をめざして	じほう	東京	2006	131-133
的場元弘	腎障害時のオピオイドの使い方は？ Ⅵ疼痛治療の応用	田中昌代	がん疼痛緩和ケアQ&A－効果的な薬物治療・QOLの向上をめざして	じほう	東京	2006	134-136
的場元弘	大量のオピオイドからのローテーション方法は？ Ⅵ疼痛治療の応用	田中昌代	がん疼痛緩和ケアQ&A－効果的な薬物治療・QOLの向上をめざして	じほう	東京	2006	143-145
的場元弘		的場元弘	がん疼痛治療のレシピ (2007年版)	春秋社	東京	2006	
小早川誠、 佐伯俊成、 他	抗精神病薬の基礎知識と使い方	志真摩泰夫	緩和ケアのための医薬品集	青海社	東京	2006	110-124
佐伯俊成	死にたいと訴える患者さんへ、どう対応すれば良いでしょうか？	堀 夏樹、 小澤桂子	一般病棟でできる緩和ケアQ&A	総合医学社	東京	2006	160-161
佐伯俊成	不眠の患者さんへの薬物療法や援助方法を教えて下さい	堀 夏樹、 小澤桂子	一般病棟でできる緩和ケアQ&A	総合医学社	東京	2006	164-165
佐伯俊成	ターミナルケアで家族にはどのように対応すればいいの？	上島国利、 平島奈津子	全科に必要な精神的ケアQ&A	総合医学社	東京	2006	154-155
辻哲也	第5章進行がんと生きる がんのリハビリテーション	日経メディカル	がんを生きるガイド	日経BP社	東京	2006	154-155
辻哲也	第6章残された時間を過ごす 家庭でもできる終末期ケア	日経メディカル	がんを生きるガイド	日経BP社	東京	2006	166-167
辻哲也	副作用・後遺症の対処法	NHKがんサポートキャンペーン事務局	がんを生き抜く実践プログラム	NHK出版	東京	2006	116-127

辻哲也	悪性腫瘍のリハビリテーション	千野直一, 安藤徳彦	リハビリテーションMOOK 内部障害のリハビリテーション	金原出版	東京	2006	88-97
辻哲也	5. 消化器系の癌 (食道癌・胃癌・肝癌・胆嚢癌・膵臓癌・大腸癌など) 2) リハビリテーションの要点	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリハビリテーション	金原出版	東京	2006	216-229
辻哲也, 他	II. 癌のリハビリテーションの概要 1. 癌のリハビリテーションの歴史と基本的概念. 癌(がん)のリハビリテーション	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリハビリテーション	金原出版	東京	2006	53-59
辻哲也, 他	II. 癌のリハビリテーションの概要 2. リハビリテーションプログラムの立て方と評価の基本. 癌(がん)のリハビリテーション	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリハビリテーション	金原出版	東京	2006	137-164
辻哲也	III. 各臓器別の癌の特徴と診断・治療・リハビリテーションの要点 2. 頭頸部癌 2) リハビリテーションの要点(構音・嚥下障害, 発声障害)	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリハビリテーション	金原出版	東京	2006	127-136
辻哲也	III. 各臓器別の癌の特徴と診断・治療・リハビリテーションの要点 2. 頭頸部癌 3) リハビリテーションの要点(頸部郭清術後). 癌(がん)のリハビリテーション	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリハビリテーション	金原出版	東京	2006	137-164



辻哲也	III. 各臓器別の癌の特徴と診断・治療・リハビリテーションの要点 5. 消化器系の癌 (食道癌・胃癌・肝癌・胆嚢癌・膵臓癌・大腸癌など). 2) リハビリテーションの要点.	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	216-229
辻哲也	IV. 癌のリハビリテーションについて知っておきたいポイント 5. リンパ浮腫のリハビリテーション. 癌(がん)のリハビリテーション	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	384-403
辻哲也	V. 癌のリハビリテーションの実際. 1. リハビリテーションチームと多職種チーム医療	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	445-450
辻哲也	V. 癌のリハビリテーションの実際. 2. リスク管理.	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	451-453
辻哲也	V. 癌のリハビリテーションの実際. 3. リハビリテーション科医師の役割	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	454-455
辻哲也	VI. 緩和ケアとリハビリテーション. 5. 緩和ケア病棟におけるリハビリテーションの実際. 1) リハビリテーションの概要と物理療法	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	531-540
辻哲也, 他	頸部郭清術後	鬼塚哲郎	多職種チーム のための周術 期マニュアル4 頭頸部癌	メヂカル フレンド	東京	2006	276-298
辻哲也, 他	口腔癌, 咽頭癌の 周術期リハビリテ ーション	鬼塚哲郎	多職種チーム のための周術 期マニュアル4 頭頸部癌	メヂカル フレンド	東京	2006	234-261

山田深, <u>辻哲也</u> , <u>辻哲也</u> , 他	III. 各臓器別の癌の特徴と診断・治療・リハビリテーションの要点 3. 肺癌, 縦隔腫瘍, 胸線腫 2) リハビリテーションの要点	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	176-188
村岡香織, <u>辻哲也</u>	IV. 癌のリハビリテーションについて 知っておきたいポイント 3. 癌患者の フィジカルフィットネス	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	357-367
鈴木幹次 郎, <u>辻哲 也</u>	IV. 癌のリハビリテーションについて 知っておきたいポイント 4. 開胸・開 腹術後の呼吸合併症予防	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	368-383
石井健, <u>辻哲也</u> , 他	V. 癌のリハビリテーションの実際. 4. 理学療法士の役割	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	456-465
田尻寿子, <u>辻哲也</u>	V. 癌のリハビリテーションの実際. 5. 作業療法士の役割	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	466-474
田尻寿子, <u>辻哲也</u> , 他	VI. 緩和ケアとリハビリテーション. 5. 緩和ケア病棟におけるリハビリテ ーションの実際 3) 作業療法士の役割	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	548-555
安藤牧子, <u>辻哲也</u>	VI. 緩和ケアとリハビリテーション. 5. 緩和ケア病棟におけるリハビリテ ーションの実際 4) 言語聴覚士の役割	辻哲也, 里 宇明元, 木 村彰男	癌(がん)のリ ハビリテーシ ョン	金原出版	東京	2006	556-564

雑誌 (外国語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Megumi Shimoyama, Naohito Shimoyama, et al	Differential analgesic effects of a mu-opioid peptide, [Dmt <sup>1</sup> ]DALDA, and morphine	Pharmacology	83	33-37	2009

Yo Tei MD, <u>Tetsuya Morita, MD, Naohito Shimoyama MD, PhD</u> , et al	Treatment Efficacy of Neural Blockade in Specialized Palliative Care Services in Japan: A Multicenter Audit Survey	Journal of Pain and Symptom Management	36(5)	461-467	2008
Nozaki-Taguchi N, <u>Shimoyama N</u> , et al	Potential utility of peripherally applied loperamide in oral chronic graft-versus-host disease related pain	Japan Journal Clinical Oncology	38(12)	857-860	2008
Masaru Narabayashi, <u>Naohito Shimoyama</u> , et al	Opioid Rotation from Oral Morphine to Oral Oxycodone in Cancer Patients with Intolerable Adverse Effects: An Open-Label Trial	Japan Journal Clinical Oncology	38(4)	296-304	2008
<u>Morita T</u> , et al	Palliative care needs of cancer outpatients receiving chemotherapy: an audit of a clinical screening project.	Support Care Cancer	16	101-107	2008
Sato K, <u>Morita T</u> , et al	Quality of end-of-life treatment for cancer patients in general wards and the palliative care unit at a regional cancer center in Japan: a retrospective chart review.	Support Care Cancer	16	113-122	2008
<u>Morita T</u> , et al	Screening for discomfort as the fifth vital sign using an electronic medical recording system: a feasibility study.	J Pain Symptom Manage	35	430-436	2008
Sanjo M, <u>Morita T</u> , et al	Perceptions of specialized inpatient palliative care: a population-based survey in Japan.	J Pain Symptom Manage	35	275-282	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Identification of quality indicators of end-of-life cancer care from medical chart review using a modified Delphi method in Japan.	Am J Hosp Palliat Med	25	33-38	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Barriers to referral to inpatient palliative care units in Japan: a qualitative survey with content analysis.	Support Care Cancer	16	217-222	2008

Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Good death inventory: A measure for evaluating good death from the bereaved family member's perspective.	J Pain Symptom Manage	35	486-498	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Effect of a population-based educational intervention focusing on end-of-life home care, life-prolonging treatment and knowledge about palliative care.	Palliat Med	22	376-382	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	The Japan hospice and palliative care evaluation study (J-HOPE Study): study design and characteristics of participating institutions.	Am J Hosp Palliat Med	25	223-232	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Factors contributing to evaluation of a good death from the bereaved family member's perspective.	Psycho-Oncology	17	612-620	2008
Sato K, <u>Morita T</u> , et al	Reliability assessment and findings of a newly developed quality measurement instrument: Quality indicators of end-of-life cancer care from medical chart review at a Japanese regional cancer center.	J Palliat Med	11	729-737	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Evaluation of end-of-life cancer care from the perspective of bereaved family members: The Japanese experience.	J Clin Oncol	26	3845-3852	2008
Akechi T, <u>Morita T</u> , et al	Psychotherapy for depression among incurable cancer patients.	Cochrane Database Syst Rev	Apr 16	CD005537	2008
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	One-week short-term life review interview can improve spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	Psycho-Oncology	17	885-890	2008

Tei Y, <u>Morita T</u> , Shimoyama N, et al	Treatment efficacy of neural blockade in specialized palliative care services in Japan: a multicenter audit survey.	J Pain Symptom Manage	36	461-467	2008
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	A pilot study of transformation, attributed meanings to the illness, and spiritual well-being for terminally ill cancer patients.	Palliat Support Care	6	335-340	2008
<u>Morita T</u> , et al	Palliative care in Japan: shifting from the stage of disease to the intensity of suffering.	J Pain Symptom Manage	36	e6-e7	2008
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	Palliative care in Japan: current status and a nationwide challenge to improve palliative care by the Cancer Control Act and the Outreach Palliative Care Trial of Integrated Regional Model (OPTIM) study.	Am J Hosp Palliat Care	25	412-418	2008
Shiozaki M, <u>Morita T</u> , et al	Measuring the regret of bereaved family members regarding the decision to admit cancer patients to palliative care units.	Psychooncology	17	926-931	2008
<u>Morita T</u> , et al	Meaninglessness in terminally ill cancer patients: A randomized controlled study.	J Pain Symptom Manage	Sep 30: [Epub ahead of print]		2008
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	Symptom Prevalence and longitudinal follow-up in cancer outpatients receiving chemotherapy.	J Pain Symptom Manage	Sep 18:[Epub ahead of print]		2008
Sanjo M, <u>Morita T</u> , et al	Caregiving consequences inventory: a measure for evaluating caregiving consequences from the bereaved family member's perspective.	Psychooncology	Nov 24: [Epub ahead of print]		2008

M Miyashita, , <u>N Shimoyama</u> , et al	Barreirs to Providing Palliative Care and Priorities for Future Actions to Advance Palliative Care in Japan: A Nationwide Expert Opinion Survey	Jounal of Palliative Medicine	10(2)	390-399	2007
Hideya Kokubun, Misako Fukawa, <u>Motohiro Matoba</u> , et al	Pharmacokinetics and Variation in the Clearance of Oxycodone and Hydrocodone in Patients with Cancer Pain	Biol.Pharm.Bull	30(11)	2173-2177	2007
Hideya Kokubun, <u>Motohiro Matoba</u> , et al	Relationship between fentanyl concentration and transdermal fentanyl dosage, and intraindividual variability of fentanyl concentration after transdermal application in patients with cancer pain	Jpn. J. Pharm. Health Care Sci	33(3)	200-205	2007
Mantani T, <u>Saeki T</u> , et al	Factors related to anxiety and depression in women with breast cancer and their husbands: role of alexithymia and family functioning	Support Care Cancer	15	859-868	2007
Ozono S, <u>Saeki T</u> , et al	Factors related to post-traumatic stress in adolescent survivors of childhood cancer and their parents	Support Care Cancer	15	309-317	2007
<u>Tsuji T</u> , et al.	Electromyographic findings after different selective neck dissections	Laryngoscope	117(2)	319-322	2007
Namba M, <u>Morita T</u> , et al	Terminal delirium: families' experience.	Palliat Med	21	587-594	2007
<u>Morita T</u> , et al	Development of national clinical guideline for artificial hydration therapy for terminally ill patients with cancer.	J Palliat Med	10	770-780	2007
Matsuo N, <u>Morita T</u>	Physician-reported practice of the use of methylphenidate in Japanese palliative care units.	J Pain Symptom Manage	33	655-656	2007

Osaka I, <u>Morita T</u> , et al	Palliative care philosophies of Japanese certified palliative care units: a nationwide survey.	J Pain Symptom Manage	33	9-12	2007
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Life review interviews on the spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	Support Care Cancer	15	225-231	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , <u>Shimoyama N</u> , et al	Barriers to providing palliative care and priorities for future actions to advance palliative care in Japan: A nationwide expert opinion survey.	J Palliat Med	10	390-399	2007
Asai M, <u>Morita T</u> , et al	Burnout and psychiatric morbidity among physicians engaged in end-of-life care for cancer patients: A cross-sectional nationwide survey in Japan.	Psycho-Oncology	16	421-428	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Good death in cancer care: a nationwide quantitative study.	Ann Oncol	18	1090-1097	2007
Fujimori M, <u>Morita T</u> , et al	Preferences of cancer patients regarding the disclosure of bad news.	Psycho-Oncology	16	573-581	2007
<u>Morita T</u> , et al	Meaninglessness in terminally ill cancer patients: a validation study and nurse education intervention trial.	J Pain Symptom Manage	34	160-170	2007
Sanjo M, <u>Morita T</u> , et al	Preferences regarding end-of-life cancer and associations with good-death concepts: a population-based survey in Japan.	Ann Oncol	18	1539-1547	2007
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Primary concerns of advanced cancer patients identified through the structured life review process: A qualitative study using a text mining technique.	Palliat Support Care	5	265-271	2007

Matsuo N, <u>Morita T</u>	Efficacy, safety, and cost effectiveness of intravenous midazolam and flunitrazepam for primary insomnia in terminally ill patients with cancer: a retrospective multicenter audit study.	J Palliat Med	10	1054-1062	2007
<u>Morita T</u> , et al	Terminal delirium: recommendations from bereaved families' experiences.	J Pain Symptom Manage	34	579-589	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Physician and nurse attitudes toward artificial hydration for terminally ill cancer patients in Japan: results of 2 nationwide surveys.	Am J Hosp Palliat Med	24	383-389	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Nurse views of the adequacy of decision making and nurse distress regarding artificial hydration for terminal ill cancer patients: a nationwide survey.	Am J Hosp Palliat Care	24	463-469	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Barriers to referral to inpatient palliative care units in Japan: a qualitative survey with content analysis.	Support Care Cancer	Feb 21: [Epub ahead of print]		2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Factors contributing to evaluation of a good death from the bereaved family member's perspective.	Psychooncology	Nov 9: [Epub ahead of print]		2007
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	One-week short-term life review interview can improve spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	Psychooncology	Nov 29: [Epub ahead of print]		2007
Shiozaki M, <u>Morita T</u> , et al	Measuring the regret of bereaved family members regarding the decision to admit cancer patients to palliative care units	Psychooncology	Dec 21: [Epub ahead of print]		2007



Mantani T, <u>Saeki T</u> , et al	Factors related to anxiety and depression in women with breast cancer and their husbands: role of alexithymia and family functioning.	Support Care Cancer	15	859-868	2007
Yamada H, <u>Shimoyama N</u> , et al.	Morphine can produce analgesia via spinal kappa opioid receptors in the absence of mu opioid receptors	Brain Research	1083(1)	61-69	2006
Ozono S, <u>Saeki T</u> , et al	Factors related to post-traumatic stress in adolescent survivors of childhood cancer and their parents	Support Care Cancer	14	e-pub ahead of print	2006
Hase K, <u>Tsuji T</u> , et al.	The effect of zaltoprofen on physiotherapy for limited shoulder movement in breast cancer patients: a single-blinded before-after trial	Arch Phys Med Rehabil	87(12)	1618-1622	2006
<u>Morita T</u> , et al.	Knowledge and beliefs about end-of-life care and the effects of specialized palliative care: a population-based survey in Japan.	J Pain Symptom Manage	31	306-316	2006
Matsuda Y, <u>Morita T</u> , et al.	What is palliative care performed in certified palliative care units in Japan?	J Pain Symptom Manage	31(5)	380-382	2006
<u>Morita T</u> , et al.	Nontraumatic subcutaneous emphysema from rectal cancer perforation completely resolved after intensive pain control.	J Pain Symptom Manage	32(1)	3-4	2006
<u>Morita T</u> , et al.	Skin reaction to both morphine and fentanyl attenuated by steroids and antihistaminics.	J Pain Symptom Manage	32(2)	100-101	2006
Asai M, <u>Morita T</u> , et al.	Burnout and psychiatric morbidity among physicians engaged in end-of-life care for cancer patients: a cross-sectional nationwide survey in Japan.	Psychooncology	Aug 23		2006

Ogawa M, <u>Morita T</u> , et al.	Uncommon underlying etiologies of reversible delirium in terminally ill cancer patients.	J Pain Symptom Manage	32(3)	205-207	2006
Fujimori M, <u>Morita T</u> , et al.	Preferences of cancer patients regarding the disclosure of bad news.	Psychooncology	Sep 25		2006
<u>Morita T</u> , et al.	Self-reported practice, confidence, and knowledge about palliative care of nurses in a Japanese regional cancer center: Longitudinal study after 1-year activity of palliative care team.	Am J Hosp Palliat Care	23(5)	385-91	2006
Murata H, <u>Morita T</u>	Conceptualization of psycho-existential suffering by the Japanese task force: The first step of a nationwide project.	Palliat Support Care	4(3)	279-285	2006
Akazawa T, <u>Morita T</u> , et al.	Contributing factors and physical-psychosocial characteristics of desire for early death among patients near the end of life in Japan.	Psycho-Oncology	15(2)	S153	2006

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
下山恵美、 <u>下山直人</u> 、他	ペインクリニックに関わる「がん対策基本法」	ペインクリニック	30(1)	83-91	2009
下山恵美、 <u>下山直人</u> 、他	緩和医療の位置づけ がん薬物療法	日本臨牀	67増刊	S528-533	2009
<u>下山直人</u>	疼痛緩和のガイドライン	腫瘍内科	2(5)	399-405	2008
<u>下山直人</u> 、他	難治性疼痛の治療	麻酔	57増刊	S170-179	2008

笠井慎也、 <u>下山直人</u> 、他	がん性疼痛患者におけるオピオイドの作用、副作用に関する遺伝子解析	ペインクリニック	29増刊	S439-449	2008
高橋秀徳、 <u>下山直人</u> 、他	癌の痛みを上手にとるには	外科治療	99(6)	580-590	2008
<u>下山直人</u> 、他	がん性疼痛患者へのチームによる全人的緩和医療	慢性疼痛	27(1)	31-36	2008
<u>下山直人</u> 、他	緩和医療の最前線	頭頸部癌	34(3)	300-304	2008
<u>下山恵美</u> 、 <u>下山直人</u> 、他	がんと統合医療—緩和医療	モダンフィジシャン	28(11)	1605-1607	2008
<u>下山直人</u>	疼痛緩和のガイドライン	腫瘍内科	2(5)	399-405	2008
<u>下山直人</u> 、他	がん性疼痛を取り除くための薬剤の知識	Expert Nurse	24(10)	33-39	2008
<u>下山直人</u> 、他	研究プロジェクト②ががん疼痛に対する代替療法・支持療法	緩和医療学	10(3)	11-16	2008
<u>下山恵美</u> 、 <u>下山直人</u>	緩和ケアチームの現状と課題	総合臨床	57(6)	1807-1808	2008
<u>下山直人</u>	緩和医療の現状と今後の展望	東京都医師会雑誌	61(4)	75-79	2008
<u>下山恵美</u> 、 <u>下山直人</u>	鎮痛補助薬総論(その意義)	緩和医療学	10(2)	3-8	2008
国分秀也、 <u>的場元弘</u> 、他	がん疼痛患者におけるフェンタニルパッチ2.5mg製剤片面貼付の検討	YAKUGAKU ZASSHI	128(3)	447-450	2008
<u>佐伯俊成</u> 、他	身体科からみたくつ病中核群—身体疾患とうつの関連.	精神科治療学	24	97-101	2009
<u>佐伯俊成</u>	精神医療における電子メールコミュニケーションの実際.	精神科治療学	23	549-552	2008
<u>佐伯俊成</u>	IT (information technology) を介した精神医療における倫理	精神科治療学	23	587-589	2008
<u>佐伯俊成</u> 、他	せん妄の診断—一般診療医が行うべき治療とは.	がん患者と対症療法	19	122-128	2008
<u>佐伯俊成</u> 、他	がん患者の家族に対する精神的ケア	コンセンサス癌医療	7	20-23	2008

尾形明子、佐伯俊成	小児がん患者と家族に対する心理的ケア	総合病院精神医学	20	26-32	2008
辻哲也	【がんのリハビリテーション最前線】現状と今後の動向	総合リハビリテーション	36	427-434	2008
辻哲也	骨転移痛に対する対策 骨転移患者のケア	ペインクリニック	29	761-768	2008
辻哲也	臨床と研究に役立つ緩和ケアのアセスメント・ツール がん患者のリハビリテーションの評価	緩和ケア	18	161-165	2008
辻哲也	悪性腫瘍（がん）のリハビリテーション	介護福祉	71	95-114	2008
辻哲也	がん治療における理学療法の可能性と課題 がん治療の現状	理学療法ジャーナル	42	915-924	2008
辻哲也	がん医療におけるリハビリテーションの役割—いま何が求められているか	地域リハビリテーション	4	60-64	2009
石川愛子、辻哲也	造血幹細胞移植とリハビリテーションの実際	臨床リハビリテーション	17	463-470	2008
田沼明、辻哲也、木村彰男	【がんのリハビリテーション最前線】リハビリテーション実際 頭頸部癌	総合リハビリテーション	36	447-452	2008
永竿智久、中島龍夫、辻哲也、里宇明元	四肢のリンパ浮腫の治療 微小循環装置を用いた下肢リンパ浮腫の血行動態解析と手術予後判定	PEPARS	22	90-97	2008
藤本亘史、森田達也	疼痛マネジメントをするための系統的・継続的評価	月間ナーシング	28	90-94	2008
森田達也	緩和ケアの現在と将来—Introduction for psychiatrists—	臨床精神薬理	11	777-786	2008
山岸暁美、森田達也	緩和ケア普及のための地域プロジェクトーがん対策のための戦略研究「OPTIMプロジェクト」	緩和ケア	18	248-250	2008
森田達也	終末期癌患者における輸液治療—日本緩和医療学会ガイドラインの概要—	日本医事新報	4390	68-74	2008